

令和 7 年度事業報告

自：令和 7 年 4 月 1 日

至：令和 8 年 3 月 31 日

本協会は、会員の生産する物産を広く紹介・宣伝することにより、販路の拡大および本県産業の振興に寄与するため、諸般にわたり事業活動を行っており、令和 7 年度に実施した事業の概要は次のとおりである。

1. 各種会議の開催

令和 7 年度各種会議開催状況

年月日	名 称	会 場	議 題
令和 7 年 6 月 13 日	第 1 回理事会	鳥取商工会議所	1. 令和 6 年度事業報告 2. 令和 6 年度収支決算見込み 3. 令和 7 年度事業計画 4. 令和 7 年度収支予算 5. 役員の改選について
6 月 27 日	令和 7 年度定時会員総会	鳥取シティホテル	1. 令和 6 年度事業報告 2. 令和 6 年度収支決算見込み 3. 令和 7 年度事業計画 4. 令和 7 年度収支予算 5. 役員の改選について 6. 年会費について 7. 役員の報酬額決定について
令和 8 年 3 月 17 日	第 2 回理事会	鳥取商工会議所	1. 令和 7 年度事業実績について 2. 令和 8 年度事業計画、収支予算について

2. 物産の紹介及び宣伝に関する事業

(1) 物産展の開催・参加

本県産業の認知度を高め、併せて消費動向を調査するため、県内外で物産展の開催に努めた。また、各種団体が主催する催しに積極的に参加し、本県産業の紹介宣伝に努めた。

(2) 新規物産展開催に向けて、百貨店への営業活動を実施した。

鳥取県物産協会運営費補助金（販路開拓を推進する営業活動担当職員及び活動経費への補助事業）を活用し、各種物産展等へ参加した。

令和7年度の特記事項

- ① 百貨店等での物産展においては、伊勢丹浦和店や大丸神戸店での催事を中心として参加するとともに、新規に高島屋泉北店等の催事などにより収益確保に努めた。
- ② 出店関係では、名古屋中日ビルでの催事やコナンまつり、ゲゲゲ忌など恒例のイベントでの売り上げ確保を図ったほか、新規のイベントへの出店にも積極的に取り組んだ。
- ③ その他関係では、ふるさと納税返礼品斡旋や大手スーパー卸し業務など、従来からの取り組みの強化に併せて大阪リーベルホテルでのポスト万博事業の取り組みも実施した。

① 各種物産展への参加

	月次	期間	日数	催事名	会場	備考
1	6月	6/18～6/24	7日間	鳥取フェア	伊勢丹浦和店	
2	6月	6/20	1日間	クロまぐろ解体PR	三越銀座店	帳合無し
3	7月	7/23～7/29	7日間	全国アンテナショップ祭り	大丸芦屋店	新規
4	8月	8/26～9/2	8日間	全国のグルメショー	東武百貨店	(単独出店) 新規
5	8月	8/27～9/2	7日間	鳥取フェア	三越銀座店	帳合無し
6	9月	9/3～9/9	7日間	鳥取フェア	大丸神戸店	
7	9月	9/12～9/15	4日間	鳥取県民の日フェア	イオン鳥取北店	
8	9月	9/12	1日間	鳥取マルシェ	大丸芦屋店	
9	10月	10/10	1日間	鳥取マルシェ	大丸芦屋店	
10	11月	11/12～11/16	5日間	松葉ガニフェア	三越日本橋	帳合無し
11	11月	11/7	1日間	鳥取マルシェ	大丸芦屋店	
12	11月	11/12～11/18	7日間	鳥取フェア	高島屋堺店	
13	11月	11/26～12/2	7日間	鳥取フェア	泉北タカシマヤ	新規
14	12月	12/3～12/9	7日間	鳥取フェア	伊勢丹新宿店	農水畜産帳合無し
15	1月	1/7～1/13	7日間	うまいものフェア	神戸大丸店	(単独出店) 新規

② 各種大会等への出店等

	月次	期間	日数	催事名	会場	備考
1	4月	4/6	1日間	春の日本橋まつり	日本橋	帳合無し
2	4月	4/23～4/24	2日間	中日ビル1周年フェア	名古屋中日ビル	
3	5月	5/9～5/10	2日間	3県合同フェア	名古屋中日ビル	鳥取・石川・山形
4	6月	6/21	1日間	この夏は、鳥取どうでshow!	ららぽーと門真	大阪日日新聞主催
5	6月	6/29	1日間	とっとり移住フェア	グランフロント大阪	鳥取県定住機構主催
6	8月	8/16	1日間	コナンまつり	とりぎん文化会館	
7	8月	8/19～8/25	7日間	県産品販路拡大事業	関西・大阪万博	伝統工芸士会
8	9月	9/3	1日間	鳥取県ナイター	広島マツダスタジアム	新規
9	10月	10/27	1日間	秋の日本橋まつり	日本橋	帳合無し
10	10月	10/18～10/19	2日間	鳥取観光物産展	広島シャレオ中央広場	鳥取県観光連盟主催
11	10月	10/24～10/25	2日間	「とっりの暮らし発見フェア」	イオンモール岡山	鳥取県定住機構主催
12	11月	11/1	1日間	藤花祭(大学祭)	京都女子大学	
13	11月	11/1～11/2	2日間	神田カレグラランプリ	東京都千代田区神田	新規
14	11月	11/22～11/23	2日間	ゲゲゲ忌イベント	調布市役所前広場	
15	11月	11/22～11/23	2日間	中四国9県観光と物産展	ベルファ都島SC	
16	11月	11/26～11/29	4日間	ふるさとフェア	名古屋中日ビル	
17	12月	12/14	1日間	ポケモンミニコンサート	境港交流センター	新規
18	1月	1/24～1/25	2日間	山陰山陽フェア	三徳各店	卸販売

19	2月	2/2	1日間	関西広域連合社会イベント	カナデビア	
20	2月	2/19～2/21	3日間	名鉄観光フェスタ	名古屋中日ビル	新規

③ その他事業

三徳（スーパー卸）	東急百貨店（WEB 宅配）
三越ふるさと納税（返礼品斡旋）	関西物販（鳥取県関西本部事務所）
JTB ショップ（WEB 宅配）	ミートモリタ屋（店頭モニター販売）
ANA ケータリングサービス（機内食材卸）	リーベルホテル大阪（万博記念事業）
伊勢丹ドア（WEB 宅配）	その他斡旋、販売

3. 物産販路開拓支援業務に係る鳥取県からの補助事業

（1）物産展事業

○業務内容

- ・県と協働で行う物産展に係る百貨店等との打ち合わせ、口座開設、出展者募集、出展者との調整、レイアウト、チラシのとりまとめ、搬入搬出作業、期間中事業者支援、精算作業等を行った。
- ・その他、小規模イベントでの物産販売等を行った。

（2）販路開拓事業

○業務内容

・企業訪問等による商品掘り起こしと販路開拓の手法等のアドバイス

百貨店・スーパー・出店等、鳥取県フェアで催事出展の経験の浅い事業者へ個別のアドバイスをおこなった。特に買いやすい商品陳列や売上げを稼ぐための品揃えの充実、販促、什器等の提案など出来るだけ具体的に助言を行った。

・県内物産の商品企画・開発・改良支援・協力機関の紹介

百貨店等での物産展の調整として、百貨店等のバイヤーやテナント業者と県内事業者との商談会を設定、求められる商材や販売方法、目標数量・金額等のアドバイスを行った。

・県内店舗等とのマッチング等支援

商談会で引き合いのあった事業者に見積書の書き方や留意点などチェックや改良支援も行った。

・首都圏における販路開拓に係る調整支援

令和7年度の我が国経済は、地政学的リスク等を抱えた不安定な世界経済を背景に食品やサービス価格等の上昇に加え米価の上昇にも注目が集まるなど、不確実な経済状況に見舞われることとなった。

こうした状況の中で、令和7年度産の県産米は、収量減、値付けの混乱などの事情からブランド力、価格競争の面で他県ブランド米に比べ不利な立場におかれ、産直サイトやふるさと納税返礼品の受注実績が振るわなかった。

さらに、ネットショッピングに供給している農産品においては、出来栄え、収量の予測が立たず、更にコスト上昇も相まって 従来の通年での見積もりの提案を3シーズンに分割して提案する事を余儀なくされる状況となった。

その一方で、百貨店やスーパーなど首都圏の小売サイドは、旬のコスパの良いもの、現在のトレンドや話題性などが注目され、単県フェアの提案は、売上の担保に加えエリアの特性、文化的価値、今日性など益々オリジナルな話題や顧客満足度の向上が求められる状況となっている。

また、百貨店側の事情としては、コスパ重視、売上至上主義の傾向も強く、安定したニーズがあり、知名度のある出店業者による催事が重宝されている。

こうした状況の中、本年度の「鳥取県フェア」の提案に当たっては、県外初出展、初出品なども交え、改めて鳥取の名産品に出会う機会の確保など、さらなる魅力向上を目指し実践した。

伊勢丹浦和店で初夏に開催したフェアでは、ポケモンコラボ商品、キャラクター派遣によるイベント新規実施の他、焼きさば重の実演、地元で人気のロールケーキ、クラフトコーラなど県外初登場の商品による従来フェア以上の魅力付けを行い、好評を博した。

また、新規販路として東武百貨店池袋店大型催事「47 都道府県につぼんのグルメショー」へ県内事業者派遣が実現した。これを契機に同店催事企画との良好な関係の道筋ができ、特に本口座開設、年間催事計画案の開示、鳥取県事業者派遣依頼のサイクルが確立した。

将来のさらなる販路拡大に向け、新しい宅配チャネル、既存販路の新規アイテム提案なども実施しており、次年度以降の成果に繋げていきたい。

・関西圏における販路開拓に係る調整支援

関西圏における百貨店で開催される鳥取物産フェアにおいて、県内事業者を招聘しての販売や県産品直送品を本会が受託しての販売により、県産品 P R に取り組んだ。

- ・大丸神戸店「食パラダイス鳥取県フェア」では旬の二十世紀梨、新甘泉の規格、サイズにこだわった梨の販売により昨年を上回る実績となった。
また新規企画では、鳥取レトルトカレーと豆腐ちくわの特別販売を行った。
- ・大丸芦屋店 昨年に続き定期開催の「鳥取マルシェ」は梨の出荷時期と合わせ、9 月の「二十世紀梨」と人気上昇の「新甘泉梨」から 10 月は「新興梨」、11 月は「王秋梨」を中心に鳥取県特産品の販売を行った。
- ・高島屋堺店 11 月に「鳥取フェア」を開催。「王秋梨」に加えて新規に特産物「長芋ねばりっこ」の販売により前年を上回る実績になった。
- ・高島屋泉北店 新規で鳥取県フェアを開催。鮮魚売場に松葉蟹の P R 販売に合わせて、県内事業者により実演販売も実施した。
- ・リーベルホテル大阪 関西万博終了後に鳥取県情報発信拠点として「まんが王国とっとり ええもん売ってマンガな」を開設し、観光情報やアフター万博の P R と県産品の販売を行った。
- ・その他、外部会場、イベントにも積極的に参加し、11 月に開催された中四国 9 県の観光物産展をはじめ、ふるさと鳥取県定住機構が開催する「移住フェア」での県産品販売、関西広域連合の合同販売会において県産品 P R を行った。
- ・中京地区における物産の斡旋紹介
 - ・名古屋中日ビル 4 月に新中日ビル 1 周年フェア、5 月には石川・山形両県と 3 県合同の販売会に出店した。
毎年恒例となっている 13 県合同「ふるさとフェア」も開催され、本県も参加した。

(3) アンテナショップ事業

・企業訪問等によるアンテナショップ販売商品の掘り起こし、商品開発支援

県市場開拓局販路拡大・輸出促進課及びアンテナショップ運営協議会事務局と密に連携しながら、農林漁業および商工業等県内事業者を日常的に訪問した。プロダクトアウトという視点に加えてマーケットインの考え方の浸透を図りつつ東京の県アンテナショップを紹介して、自社商品の東京での情報発信にトライしていただくよう働きかける活動を行った。その結果、チャレンジ商品を含むアンテナショップへの新商品紹介は 186 点（前年 81 点）に上った。

また、各事業者への訪問と併行して、情報収集のため県内外の販売施設およそ 100 ケ所へ出向き、新商品チェック・商品展開・陳列手法・運営オペレーション・販売員数・顧客動向・周辺環境などのリサーチを行い、県内事業者への情報提供の際の参考とした。

・アンテナショップ催事業務

アンテナショップ催事出展募集、受付、関係事務処理及び催事サポート、フィードバック等を鳥取県販路拡大・輸出促進課及び東京本部アンテナ運営協議会事務局と連携しながら行った。その結果、アンテナショップへの催事出展はのべ 37 件（前年 26 件）となった（公的団体除く）。

催事出展に際しては、各事業者へ県によるチャレンジ商品制度および旅費支援金制度を案内すると同時に、数度にわたり事前の打合せを行い、必要に応じて事後のフォローを実施した。その内容については、鳥取県販路拡大・輸出促進課、アンテナショップ運営協議会事務局など関係者にも随時報告して情報の共有化を図った。

また初出展もしくは出展に不慣れな出展者に関しては、出展日に上京し、実地に支援・助言を行うよう努めた。

（４）民工芸事業

○業務内容

- ・民工芸事業者と既存販売店舗のマッチング、フォローアップ等における販路拡大・維持支援
販路拡大のための情報収集と新しい製品・販売店・展示会等の情報交換を行った。
マッチング数：47（県内外店舗への新規出展・出品事業者数 30、イベント・物産展等へ出品販売支援事業者数 17）
- ・鳥取県伝統工芸士会事務局業務
平成 29 年度より鳥取県伝統工芸士会事務局が鳥取県物産協会に移管され、事務局業務全般、会計業務を行った。
- ・鳥取県伝統工芸品半世紀展（ようこそ、ようこそ 50 年、これからも）
「因州和紙」と「弓浜緋」が国の伝統工芸品に指定されてから 50 周年を迎えることを記念して、因州和紙及び弓浜緋の特集展示のほか伝統工芸品を一堂に展示し、鳥取の手仕事の再発見と伝統工芸の未来を見据える催しを開催した。
（県立美術館、4/18～5/10、来場 1 万 3 千人）
- ・2025 大阪・関西万博 関西パビリオン出展（鳥取県伝統工芸士会 6 事業者出展支援）
民工芸品 全体売上 432,000 円
- ・「第 16 回 鳥取の伝統工芸士展」の開催。（会期：令和 8 年 3 月 18 日（水）～23 日（月）
会場：丸由百貨店 4F アートギャラリー 5F トトリプレイス、出展事業者：20）
- ・総会、幹事会、相談会等に関する書類作成（決算予算書・事業報告計画書・議案・会報等）
参加案内、会費の徴収
- ・関係者間の調整、資料等作成、清算業務。
- ・その他民工芸に付随する業務
 - ・各種イベント、展示会への出展支援を行った。
 - コナンまつり R7. 8. 16 （とりぎん文化会館）
 - とっとり県民の日 R7. 9. 12～9. 15 （イオン鳥取北店）
 - ポケモンミニコンサート R7. 12. 14 （境港交流センター）
 - ・鳥取市立湖南学園小学 4 年生を対象とした伝統工芸の魅力を後世に伝える授業に対して支援を行った。
講師として、鳥取県伝統工芸士会 會州堂 橋谷田岩男氏に依頼した。
 - ・ホームページを活用し各民工芸事業者にとって有益な情報を発信した。

（５）【その他県委託事業等】

○とっとりの逸品販路拡大支援事業

- ・鳥取フェア等に係る店舗協力費、広報費等支払い
店舗協力費又は広報費（物産展「鳥取フェア」等）の支払いを行った。
- ・催事等出展事業者への旅費支援金等支給
県外で行われる鳥取県フェア等催事又は見本市等に出展する事業者に対して旅費支援また、マネキンによる支援を行った。
- ・見本市への出展支援事業
スーパーマーケットトレードショー 2026（R8. 2. 18～20、幕張メッセ、14 社参加）への出展支援として、出展料の徴収やブースへの出店補助等を行った。

○鳥取県東京アンテナショップ機能強化事業

- ・令和7年度アンテナショップ・首都圏・関西圏及び香港輸出商品クリニック兼商談会

日時 令和7年7月15日(火)

場所 エースパック未来中心（倉吉市）

参加 10社（アンテナショップ運営事業者・天満屋分）

天満屋による商談は申込事業者数が多かったため1階・2階の2ヶ所に分かれて行われた。

商談にあたってはそれぞれの会場を往復し、事業者自身のプレゼンを補う形で商品特性と美点について天満屋担当者に対して積極的に説明を加えた結果、多くの商品が採用されることとなった。また商談会と前後して天満屋担当者をアテンドして県内事業者訪問を行い、そこでも多くの商品が採用された。

- ・令和7年度アンテナショップ報告会兼商談会

日時 令和8年1月21日(水)

場所 エースパック未来中心（倉吉市）

参加 報告会27社、商談会13社

折からの大雪で出席者の大幅減が心配されたが、県内各地からほぼ予定どおりご参集いただくことができた。報告会ではアンテナショップ店長による運営状況の報告がなされ、出品にあたってのアドバイスも付け加えられた。商談会では天満屋統括支配人、店長、MD本部部長の三者が出席され、事業者の商品説明を熱心に聴き取られた。具体的な質疑応答が交わされ、天満屋側に熱意が示される形となった。商談が成立した商品以外にも細部の詰めを行なうため商談継続となっている商品も多くあり、総じて実り多い商談会であった。

○ふるさと産業支援事業

・販路開拓支援

- ・米子高島屋で民芸芸県内若手作家展示販売会 「第17回とっりの手仕事展」を開催し、情報提供、出展調整及び経費の一部支援を行った。
- ・2025大阪・関西万博に出展された事業者(鳥取県伝統工芸士)の出展経費の一部を支援した。
- ・會州堂 橋谷田岩男氏講演経費（鳥取市立湖南学園）を支援した。
- ・第16回伝統工芸士展（丸由百貨店）の開催経費の一部を支援した。

○おいしい鳥取PR推進事業

- ・すいか、マグロ、梨、松葉がになど季節の産品について、関西圏、中京圏、首都圏の百貨店等で展開された販売促進活動、広報業務について人的な支援や支払業務等を行った。

4. 会員の異動の状況

6年度末現在	期間中の異動		7年度末現在
	加入	脱会	
151	4	5	150